

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200390		
法人名	医療法人なごみ会		
事業所名	酒井医院グループホームなごやか		
所在地	佐賀県唐津市鎮西町名護屋4198番地		
自己評価作成日	令和元年5月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和元年7月10日	外部評価確定日	令和元年8月21日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>受容、共感、笑顔をキーワードに地元とのふれ合いを意識し貢献を心がけている。四季折々が身近に感じられる環境にあり、花鳥風月を感じながら笑いが絶えず、心穏やかに過ごして頂けるように頑張っている。介護福祉士のほか、医師や看護職、栄養士、理学療法士、等専門職の知識技術をもって協働し質の高いサービスの提供を心がけている。その中で人として当たり前の暮らしがあり、穏やかな看取りに繋がられるよう努めている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>静かな住宅街の一角に玄関を挟んで東棟、西棟と左右に2棟つながっている。中庭には花が咲き自然豊かな落ち着いた雰囲気の施設である。入居者はゆったり穏やかな雰囲気で自由に過ごされている。3年前に施設理念を変更、スタッフ全員で考え誰もが分かるような内容に決定、毎月の業務改善会議においてスタッフ全員で唱和、施設内に掲示しスタッフの介護に活かされている。家族や近隣住民の訪問も多く、スタッフの利用者様への普段の生活を送って頂く「大きな家」というコンセプトを元に支援され、入居者は自由にお茶を飲んだり、一緒に洗濯物を干したり、食事の声かけがあるまで居室で思い思いに過ごされたりしている。開設14年になり実績は十分あるが、今後も食事内容(外食等)や、個人に応じたリハビリの検討等もされていく予定。家族がどうしてもこの施設を利用したいと希望されている施設である。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念には法人全体で掲げているものと事業所独自のものがある。事業所独自のものは職員全員が思いを出し合い作り上げたものである。(介護のプロとして理由を言える仕事をしよう)等意識改革に努め原点に立ち戻る機会について日常業務の指導に活用している。毎月の業務改善会議にてスタッフ全員で唱和し意識の定着・共有を図っている。	理念には法人全体で掲げているものと事業所独自のものがある。事業所独自のものは職員全員が思いを出し合い作り上げたものである。(介護のプロとして理由を言える仕事をしよう)等意識改革に努め原点に立ち戻る機会について日常業務の指導に活用している。毎月の業務改善会議にてスタッフ全員で唱和し意識の定着・共有を図っている。	3年前、事務長発案にて施設理念を変更。スタッフ全員で考えられた為意識付けにもなっている。誰にでも分かる言葉で、毎月の業務改善会議で唱和され全員で共有している。また職員の目に届く場所に掲示しており、ケアの振り返りに活かされている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、積極的に地域に関わりたいと考えている。地域の情報は家族、ボランティアや地元の職員、運営推進会議員などから得、地区や学校行事をはじめ、小学生や幼稚園児、複数のボランティア団体及び個人等の訪問を通じて年間交流がある。小学生の朝の登校時には廊下から、子供たちに手を振り「いってらっしゃい」という入居者の姿もみられる。	自治会に加入し、積極的に地域に関わりたいと考えている。地域の情報は家族、ボランティアや地元の職員、運営推進会議員などから得、地区や学校行事をはじめ、小学生や幼稚園児、複数のボランティア団体及び個人等の訪問を通じて年間交流がある。	自治会に加入、職員が地区の清掃に交代で出ている。また文化祭に利用者の作品を出品し家族が見に連れて行ったり、利用者の孫が相撲大会に出場する為地区の小学校に見につれて行ったりしている。天気の良い日には近所を散策したり、地域の一員として認識され交流の機会を設けられている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	デイサービスや居宅介護支援事業所を併設し共有、解決に繋がるように実践している。運営推進会議で具体的に伝えるようにしている。管理者は早期に認知症ケアオレンジリングや認知症ケア准専門士等を取得しており認知症の理解や支援を意識して電話相談に応じている。	デイサービスや居宅介護支援事業所を併設し共有、解決に繋がるように実践している。運営推進会議で具体的に伝えるようにしている。管理者は早期に認知症ケアオレンジリングや認知症ケア准専門士等を取得しており認知症の理解や支援を意識して電話相談に応じている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1/2月に定期的に会議を開き委員として年間通して会議に参加して頂きホームでの取り組みや生活状況を報告し、サービスの向上に繋がる意見や助言がいただけるよう雰囲気づくりを心がけている。	1/2月に定期的に会議を開き委員として年間通して会議に参加して頂きホームでの取り組みや生活状況を報告し、サービスの向上に繋がる意見や助言がいただけるよう雰囲気づくりを心がけている。	2か月に一度定期的に運営推進会議開催、グループホームの状況報告を行っている。市民センター職員、民生委員、老人会長、家族代表他デイサービス責任者、居宅支援係の参加もありグループホーム、デイサービス、居宅等地域の問題も議題に挙がっており地域、施設双方にとって有意義な会議が行われている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者を相談者と位置づけ日常的に相談に乗ってもらっている。原発事故対応の避難訓練等情報を頂くようにしている。	市町村担当者を相談者と位置づけ日常的に相談に乗ってもらっている。原発事故対応の避難訓練等情報を頂くようにしている。	運営推進委員の一員として顔なじみの関係があり、気になる事等あれば気軽に相談できる関係性が出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束はしない」事を前提に高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所内で定期的を実施。知識を深めるとともに法人全体で拘束をしない取り組みとして身体拘束適正化検討委員会を立ち上げ1/3月検討会議を開催し身体拘束のない事業所を目指している。	「身体拘束はしない」事を前提に高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所内で定期的を実施。知識を深めるとともに法人全体で拘束をしない取り組みとして身体拘束適正化検討委員会を立ち上げ1/3月検討会議を開催し身体拘束のない事業所を目指している。	新規職員採用時に身体拘束についての内容説明を行っている。身体拘束について2グループホーム会議で繰り返し勉強し、「いつの間にか拘束」をしていないか振り返っている。スタッフに場面に応じた(例:食事時声掛けせずに介助等)について意見の聞き取りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待防止法を学ぶと共に拘束の延長が虐待に繋がるという認識で取り組むとともに、アザや傷は集中して原因を探るようにしている。当たり前になっている自分たちのケアを自分たちで振り返り考える機会を作るよう計画している。	定期的に虐待防止法を学ぶと共に拘束の延長が虐待に繋がるという認識で取り組むとともに、アザや傷は集中して原因を探るようにしている。当たり前になっている自分たちのケアを自分たちで振り返り考える機会を作るよう計画している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての研修を実施し職員全員で学ぶ機会を持ちご家族へも情報提供を心がけている。過去には実際に成年後見人制度等に繋がったケースもある。	権利擁護についての研修を実施し職員全員で学ぶ機会を持ちご家族へも情報提供を心がけている。過去には実際に成年後見人制度等に繋がったケースもある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相互間の事前訪問等で丁寧に説明時間を設け疑問点の有無を確認している。利用料金、起こりうるリスク、看取り医療連携体制等できる限り詳しく説明し、納得頂いた上での契約や解約手続きを心がけている。	相互間の事前訪問等で丁寧に説明時間を設け疑問点の有無を確認している。利用料金、起こりうるリスク、看取り医療連携体制等できる限り詳しく説明し、納得頂いた上での契約や解約手続きを心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時はお茶を用意し日常会話の中から意を引き出す等できるだけ要望を出しやすい雰囲気づくりに努めるとともに意見があれば出来るだけ早急に解決反映できるよう全職員で努め、取り組んでいる。	面会時はお茶を用意し、最近の様子や話されたこと等をなるべく伝えるようにしている。ご家族との信頼関係づくりを大切にいくことで日常会話の中から意を引き出せるように努めている。その上で要望を出しやすい雰囲気づくりに努めるとともに意見があれば出来るだけ早急に解決反映できるよう全職員で努め、取り組んでいる。	意見箱を設置しているが今まで意見が入っていた事は無い。家族面会時は会話を多く持ち、何気ない会話の中から家族の思いを引き出すよう常日頃気がけている。何でも言える関係作りに努め、意見等あれば早急に対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のカンファレンス、1/月の業務改善会議、1/2月の理事長参加の会議、1/3月の管理者会議、1/6月の個人面談等反映につなげられるよう定期的に意見を出せる機会を設け反映させる姿勢を示している。	毎日のカンファレンス、1/月の業務改善会議、1/2月の理事長参加の会議、1/3月の管理者会議、1/6月の個人面談等反映につなげられるよう定期的に意見を出せる機会を設け反映させる姿勢を示している。	理事長は月に2回訪問診療に来荘。理事長参加の会議開催、管理者はスタッフに伝達、管理者は3か月に一回全職員との個人面談を行っている。スタッフの購入希望品により利用者との共同作業の機会が出来た事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	目標管理制度(1/6月の評価)、就業規則、健康診断等面談を含め心身の健康を保つ様、又、面談で直接意見を聞く等向上と整備に努めている。	目標管理制度(1/6月の評価)、就業規則、健康診断等面談を含め心身の健康を保つ様、又、面談で直接意見を聞く等向上と整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修では採用からひと月は、○JTで学ぶよう勤務調整している。外部内部研修参加を奨励し報告書で共有する等取り組んでいる。	新人研修では採用からひと月は、○JTで学ぶよう勤務調整している。外部内部研修参加を奨励し報告書で共有する等取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内や県のGH連絡会や協会及び法人を通じての業者交流等を進めている。唐津圏内のGHスタッフ研修会が定期的に実施されているが、当スタッフの参加は少ないので活用してほしいと考えている。理事長・事務長も希望があれば取次ぎをすると協力体制を約束されている。	市内や県のGH連絡会や協会及び法人を通じての業者交流等を進めている。唐津圏内のGHスタッフ研修会が定期的に実施されているが、当スタッフの参加は少ないので活用してほしいと考えている。理事長・事務長も希望があれば取次ぎをすると協力体制を約束されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相互の事前訪問で要望等確認しなじみの職員を担当にするなど導入時の関係づくりには特に重点的に配慮している。	相互の事前訪問で要望等確認しなじみの職員を担当にするなど導入時の関係づくりには特に重点的に配慮している。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に健康診断を受けて頂くことと計画作成者がサービスプランについてゆっくり時間を設け丁寧に傾聴し納得されるサービス提供に繋がるよう関係づくりに努めている。	入居前に健康診断を受けて頂くことと計画作成者がサービスプランについてゆっくり時間を設け丁寧に傾聴し納得されるサービス提供に繋がるよう関係づくりに努めている。また、普段の面会時にはご家族様に「何か不安なことや心配なことはないか？」などこちらから問いかけ早く対応できるように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅ケアマネージャーからの情報等を参考にしながら本人やご家族の思い状況等を確認し、面談を繰り返す中で必要なサービスの見極めにつなげている。	居宅ケアマネージャーからの情報等を参考にしながら本人やご家族の思い状況等を確認し、面談を繰り返す中で必要なサービスの見極めにつなげている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にできることを探し、役割分担を前提に日課を考え共同生活の場を意識して接している。ご家族にも理解を頂くよう働きかけている。	一緒にできることを探し、役割分担を前提に日課を考え共同生活の場を意識して接している。他の入居者様とも一緒に行っていたりなど役割の独占にならないように配慮している。ご家族にも理解を頂くよう働きかけている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時より共に支える関係であることを共有し本人の思いも共有できるように面会時等は必ず会話を楽しむ等日常の関わりに配慮している。	入居時より共に支える関係であることを共有し本人の思いも共有できるように面会時等は必ず会話を楽しむ等日常の関わりに配慮している。また、面会時には日常本人が言われた家族に関する話等を間接的に伝えることを心がけ本人と家族を結び役割を意識している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室、薬局、スーパー等できるだけ繋がるように支援している。友人やなじみの方との関係の継続にも配慮して支援している。	行きつけの美容室、薬局、スーパー等できるだけ繋がるように支援している。友人やなじみの方との関係の継続にも配慮して支援している。また、ホーム内での新しい馴染みの関係が作れるように支援している。	馴染みの美容室利用や外出支援が行われ関係性が途切れない工夫をしている。親戚、近隣友人の施設訪問、自宅への一時帰宅、外泊により入居前の人間関係を継続するよう支援されている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の個性を大切に、仲の良さ悪しを把握した上で関係性が悪くならない程度に交流を支援したり仲間意識が生まれる様に配慮している。トラブル発生時はそれ以上悪化しないように介入している。	利用者の個性を大切に、仲の良さ悪しを把握した上で関係性が悪くならない程度に交流を支援したり仲間意識が生まれる様に配慮している。トラブル発生時はそれ以上悪化しないように介入している。少数での活動なども状況に応じて行っていただくようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	住み替えが必要になられた方には事前に関係者と担当者会議等を持ち、できるだけ生活の継続性が保たれるように支援している。退居後の訪問等も実施している。看取り等の方は管理者が代表して焼香や訪問に上がり、スタッフノート等で報告している。	住み替えが必要になられた方には事前に関係者と担当者会議等を持ち、できるだけ生活の継続性が保たれるように支援している。退居後の訪問等も実施している。看取り等の方は管理者が代表して焼香や訪問に上がり、スタッフノート等で報告している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々表情や言葉に意識を傾け意向や思いを汲み取るように関わっている。困難な場合は本人本位に考え家族と確認共有するようになっている。	日々表情や言葉に意識を傾け意向や思いを汲み取るように関わっている。困難な場合は本人本位に考え家族と確認共有するようになっている。	グループホームは入居者にとって「大きな家」をコンセプトにそれぞれが自由に自宅に居るように過ごしてもらいたいという管理者の思いがあり、一人一人の思いに寄り添い介護されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しながら生活歴や暮らし方等認知症に特化したセンター方式のアセスメントツールで個性を細かく把握しより良いケアに繋がられるように関わっている。	プライバシーに配慮しながら生活歴や暮らし方等認知症に特化したセンター方式のアセスメントツールで個性を細かく把握しより良いケアに繋がられるように関わっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、睡眠、排泄状態、生活習慣、体調の変化等何ができるのか、潜在能はどうか、どうすれば日常生活に生かしその方の自信に繋がれるか記録し、状態の把握に努めている。また、出来ること、わかること等アセスメントに努めている。	食事、睡眠、排泄状態、生活習慣、体調の変化等何ができるのか、潜在能はどうか、どうすれば日常生活に生かしその方の自信に繋がれるか記録し、状態の把握に努めている。また、出来ること、わかること等アセスメントに努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者が作成した計画書をもとにより具体的な介護計画書を担当スタッフが作成。さらにそれをもとにスタッフによるモニタリング表を作成、毎日チェックできるようにしている。担当者を中心に毎月モニタリングし振り返り翌次のサービスに繋げている。また、毎日のカンファレンスでモニタリングしスタッフ全員で共有できるようにしている。	計画作成者が作成した計画書をもとにより具体的な介護計画書を担当スタッフが作成。さらにそれをもとにスタッフによるモニタリング表を作成、毎日チェックできるようにしている。担当者を中心に毎月モニタリングし振り返り翌次のサービスに繋げている。また、毎日のカンファレンスでモニタリングしスタッフ全員で共有できるようにしている。	担当スタッフがアセスメント、モニタリング、評価、本人・家族の意向を伺い原案作成。家族、管理者、ユニットリーダー、ケアプラン原案作成者参加にてサービス担当者会議を開催。主治医が施設の代表者と言う事もあり医療連携も確実に出来ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々にファイルを用意し食事水分出納排泄状況等身体の状態や日々の変化、本人の言葉やエピソードを日常記録し、問題解決につなげケアの見直しに繋げている。	個々にファイルを用意し食事水分出納排泄状況等身体の状態や日々の変化、本人の言葉やエピソードを日常記録し、問題解決につなげケアの見直しに繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況に応じて訪問、外出泊、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足を高めるよう努めている。	本人・家族の状況に応じて訪問、外出泊、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足を高めるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括支援センター、民生委員や老人会役員等参加いただき、ボランティア、福祉事業者、訪問理美容、商店街、警察、公共交通、災害避難所等介護保険以外の情報の把握に努め利用者と共有している。	運営推進会議に地域包括支援センター、民生委員や老人会役員等参加いただき、ボランティア、福祉事業者、訪問理美容、商店街、警察、公共交通、災害避難所等介護保険以外の情報の把握に努め利用者と共有している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	医療連携担当看護師を位置づけ納 得のいく医療が受けられるよう、入 居前のかかりつけ医、薬局を把握し 希望や適切な医療が受けられるよう 連携している。体調不良時等はご家 族と意向を確認しご家族の同行が 困難なときは職員が代行している。	医療連携担当看護師を位置づけ納 得のいく医療が受けられるよう、入 居前のかかりつけ医、薬局を把握し 希望や適切な医療が受けられるよう 連携している。体調不良時等はご家 族と意向を確認しご家族の同行が 困難なときは職員が代行している。	入居時施設主治医の説明を行い、 家族了承の上主治医変更を行って いる。2週に1回往診あり。緊急時や 体調不良時は連絡、指示を受けて いる。他科受診時は家族付き添い、 家族の都合がつかない時は施設ス タッフが受診介助を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	職員として看護職員が複数勤務して おり、体調や些細な変化を見逃さな いようポイントを共有し早期発見や 適切な対応になるよう支援してい る。	職員として看護職員が複数勤務して おり、体調や些細な変化を見逃さな いようポイントを共有し早期発見や 適切な対応になるよう支援してい る。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。	家族を中心に病院関係者との情報 交換等日常的に顔の見える関係づ くりを努めている。最近では病院の窓 口に連携室が設置されているところ が多く、協働しやすい環境にある。	家族を中心に病院関係者との情報 交換等日常的に顔の見える関係づ くりを努めている。最近では病院の窓 口に連携室が設置されているところ が多く、協働しやすい環境にある。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	重度化や看取りの指針及び看取り ケアプランを作成し、入居時より治 療や看取り方針を共有し定期的な 見直しや状態の変化等常に共有し 対応できるように関わっている。	重度化や看取りの指針及び看取り ケアプランを作成し、入居時より治 療や看取り方針を共有し定期的な 見直しや状態の変化等常に共有し 対応できるように関わっている。	入居契約時、重度化した場合の看 取りについて本人、家族へ施設と して出来る事の説明を行っている。入 居時状態把握の為健康診査を行 い、状態の変化に伴い定期的な見 直しが行われている。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルを作成し研修や訓練を定期的実施し実践できるよう取り組んでいる。	事故発生時のマニュアルを作成し研修や訓練を定期的実施し実践できるよう取り組んでいる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアル作成し2回/年訓練を行っている。出来るだけ多くのスタッフが身につくよう工夫している。地域の協力については地区の住民や民生委員や地区の消防団、青年団を中心に関係性をもっている。消防団・青年団の方々とは神社の関係もあり毎年、獅子舞で訪問いただいている。そのときにホームの中まで入って頂きホームの間取り等を見ていただく機会にもしている。	マニュアル作成し2回/年訓練を行っている。出来るだけ多くのスタッフが身につくよう工夫している。地域の協力については地区の住民や民生委員や地区の消防団、青年団を中心に関係性をもっている。消防団・青年団の方々とは神社の関係もあり毎年、獅子舞で訪問いただいている。そのときにホームの中まで入って頂きホームの間取り等を見ていただく機会にもしている。	年2回地区の住民や消防団、青年団、民生委員、スタッフ参加にて夜間想定消防・防災訓練を行っている。実際に夜間、訓練を行った事はない。毎回多くのスタッフが参加し、意識付けを行っている。飲水、食料品は食品会社に依頼、備蓄している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の研修で尊厳や権利を学ぶと共に言葉掛け接遇に重きを置き定期的に研修し人生の先輩であることを念頭に置き法人全体で個人の尊重とプライバシー保護について日常業務で配慮されているか注意している。	プライバシー保護の研修で尊厳や権利を学ぶと共に言葉掛け接遇に重きを置き定期的に研修し人生の先輩であることを念頭に置き法人全体で個人の尊重とプライバシー保護について日常業務で配慮されているか注意している。	プライバシー保護についての研修にも参加しており月に1回2グループホームスタッフ合同会議で管理者より周知している。排泄介助や入浴時等の介助時は特に日頃よりプライバシーの保護に気を付けている。人生の先輩である利用者の尊厳を保ち言葉かけにも十分気を付けコミュニケーションを図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居時に無理強いしない、強制するところではない事をご家族にもご理解頂き、一人ひとりの状態に合わせて本人が答えやすく選びやすいように状態を見極め視力低下の方には言葉掛けを多く、表出が少ない方にはより具体的に情報提供する等工夫して自己決定を支援している。	入居時に無理強いしない、強制するところではない事をご家族にもご理解頂き、一人ひとりの状態に合わせて本人が答えやすく選びやすいように状態を見極め視力低下の方には言葉掛けを多く、表出が少ない方にはより具体的に情報提供する等工夫して自己決定を支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが個々の希望や動きに合わせて出来るだけ寄り添い、その人の生活支援が出来るように努めている。晩酌を希望されるときはしていただいている。個々を最大限尊重している。	基本的な一日の流れはあるが個々の希望や動きに合わせて出来るだけ寄り添い、その人の生活支援が出来るように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃より個性を大切にしている。朝の着替えは本人の意向を尊重している。職員は見守りや支援が必要ときに手伝うようにしている。ヘアスタイル等個性を大切にしてくださいる方に訪問美容を依頼し柔軟に対応いただいている。	日頃より個性を大切にしている。朝の着替えは本人の意向を尊重している。職員は見守りや支援が必要ときに手伝うようにしている。ヘアスタイル等個性を大切にしてくださいる方に訪問美容を依頼し柔軟に対応いただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好き嫌いにあわせて出来る限り個別対応している。午前中の活動で昼の献立について話題にしたり、夕食時は準備の音や匂いで楽しみに繋がるよう働きかけている。片付け・食器洗い等にも参加していただいている。	食事の好き嫌いにあわせて出来る限り個別対応している。午前中の活動で昼の献立について話題にしたり、夕食時は準備の音や匂いで楽しみに繋がるよう働きかけている。片付け・食器洗い等にも参加していただいている。	昼食は外注。メニュー作成は外注先の管理栄養士が作成、誕生日は特別メニューを準備している。朝食、夕食はホール台所でスタッフが調理している為、音や臭いで食事への楽しみが持てる環境。以前は味噌汁を担当していた利用者が居たが、現在は数名が後片付けを手伝っている。	食べる事は入居者の大きな楽しみひとつと思われる為一緒に手作りおやつを作る活動などが期待される。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事を観察記録しかかりつけ医と情報共有し一人ひとりの必要量に繋げている。器や道具、食事形態等個人に合わせて、柔軟に対応。その日の状態に合わせて対応できるように配慮している。2回/月の体重測定を行い栄養スクリーニング表で確認している。	食事を観察記録しかかりつけ医と情報共有し一人ひとりの必要量に繋げている。器や道具、食事形態等個人に合わせて、柔軟に対応。その日の状態に合わせて対応できるように配慮している。2回/月の体重測定を行い栄養スクリーニング表で確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ブラッシングできない方はスポンジやケア製品でトラブル防止に努めている。全員個々に応じた口腔ケアが出来るように共有し徹底できるように努めている。義歯の管理も個別に毎日対応している。	毎食後、ブラッシングできない方はスポンジやケア製品でトラブル防止に努めている。全員個々に応じた口腔ケアが出来るように共有し徹底できるように努めている。義歯の管理も個別に毎日対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄表で排泄パターンや状態を把握し、トイレトレーニングおむつ外し等排泄に向けて統一ケアで支援している。又、おむつ内排泄の時は皮膚トラブルがないよう速やかな対応で防止している。又、コスト意識も念頭に入れ対応に努めている。	個別の排泄表で排泄パターンや状態を把握し、トイレトレーニングおむつ外し等排泄に向けて統一ケアで支援している。又、おむつ内排泄の時は皮膚トラブルがないよう速やかな対応で防止している。又、コスト意識も念頭に入れ対応に努めている。	紙おむつ1人、夜間のみ紙おむつ1人。他は紙パンツ、布パンツ使用。日中は状態を見ながらトイレ介助を基本に、排泄の自立に向けた取り組みを行い、パット使用量の軽減も考慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し個人に合わせて十分な水分補給や食物繊維の多い献立等高齢者の特徴に合わせて食事の提供や運動(立位等)の促し等を心がけている。	排泄パターンを記録し個人に合わせて十分な水分補給や食物繊維の多い献立等高齢者の特徴に合わせて食事の提供や運動(立位等)の促し等を心がけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者には毎日入浴可能になっている。希望が無いときは無理強いせずタイミングをはかる等工夫し、必要に応じ排泄状態等個々に応じた対応をしている。	希望者には毎日入浴可能になっている。希望が無いときは無理強いせずタイミングをはかる等工夫し、必要に応じ排泄状態等個々に応じた対応をしている。	毎日入浴準備が行われ、希望により毎日入浴される方もいる。自宅で入浴していたように昼過ぎから夕方入浴や、個人の好みの温度に合わせて個々に応じた支援をしている。入浴予定表はあるが、便失禁された方は優先的に入浴支援し、気持ちよく過ごしてもらっている。入浴者以外は毎日足浴施行している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動の促しを基本としているが、心身の状態に合わせてその方のペースで自由に居室やソファ等休息が取れるようになっている。また、夜間の担当者や昼間の活動を情報共有している。	日中は活動の促しを基本としているが、心身の状態に合わせてその方のペースで自由に居室やソファ等休息が取れるようになっている。また、夜間の担当者や昼間の活動を情報共有している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬手帳を活用し処方内容を控えいつでも確認できるようにしている。与薬確認表を作成し、支援状況が把握しやすいように工夫している。	薬手帳を活用し処方内容を控えいつでも確認できるようにしている。与薬確認表を作成し、支援状況が把握しやすいように工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や出来ることシートやその方の興味等日頃の話題等で力を把握し毎日順番に利用者全員に漏れがないよう楽しみごとに繋がる支援に取り組んでいる。	生活歴や出来ることシートやその方の興味等日頃の話題等で力を把握し毎日順番に利用者全員に漏れがないよう楽しみごとに繋がる支援に取り組んでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	屋外活動は積極的に支援しており出来るだけ機会を作って促し家族にも協力を促したり、付き添い支援している。具体的には買い物、散歩、食事会等実績に繋がっている。	屋外活動は積極的に支援しており出来るだけ機会を作って促し家族にも協力を促したり、付き添い支援している。具体的には買い物、散歩、食事会等実績に繋がっている。	天候により荘外散策に出かけたり、外出困難な利用者は施設中庭のデッキに出て外気浴を行っている。昨夏は手持ち花火で花火大会を行い入居者に喜んでもらった。お茶会を行う事もあり入居者の方に喜んでもらっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出の機会の少ない方にはホーム内で金銭の支払い(訪問美容等)が能力に応じてお金に触れられる機会を支援している。	外出の機会の少ない方にはホーム内で金銭の支払い(訪問美容等)が能力に応じてお金に触れられる機会を支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は相談室を日常的に開放して使用して頂ける様にしている。郵便等も本人様が直接やり取りされるよう支援している。	電話は相談室を日常的に開放して使用して頂ける様にしている。郵便等も本人様が直接やり取りされるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のトイレは清潔感を第一に居間は室温湿度音響等に配慮して調整している。居室の座席や家具の配置は入居者様と一緒に考え自分の家だという意識を高めてもらうようにしている。	共有のトイレは清潔感を第一に居間は室温湿度音響等に配慮して調整している。居室の座席や家具の配置は入居者様と一緒に考え自分の家だという意識を高めてもらうようにしている。	ホールは自然光が差し込み明るい。居室までの廊下のところどころに椅子が置いてあり、中庭を見ながら寛ぐ事が出来る。安定した履物の脱ぎ履きの為、玄関には椅子が置いてある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下のソファや椅子、共有リビングでの座席の位置等好みの場所があり談笑される等活用されている。	廊下のソファや椅子、共有リビングでの座席の位置等好みの場所があり談笑される等活用されている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の位置づけにはそれぞれであり、家具は特に制限なく出来るだけなじみの家具を持ち込まれるよう家族に協力を促している。	居室の位置づけにはそれぞれであり、家具は特に制限なく出来るだけなじみの家具を持ち込まれるよう家族に協力を促している。	居室備え付けのクローゼットがあり整理整頓されている。TVや自宅で使っていた布団、仏壇の持ち込みもある。居室入口に名前の表記はないがドアは全面様々なカラフルな色の扉で、利用者は色により自分の部屋であると認識している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの設計で車椅子自走可能で、トイレや浴室廊下の手すりや流し台の高さ、自動センサーの蛇口、常時屋外に避難できる吐き出し窓の平屋で安全と自立に配慮している。	バリアフリーの設計で車椅子自走可能で、トイレや浴室廊下の手すりや流し台の高さ、自動センサーの蛇口、常時屋外に避難できる吐き出し窓の平屋で安全と自立に配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない